

付 録

民俗学研究所第三〇回公開講演会

文芸学部設立三〇周年記念事業講演会

日時 平成三〇年十一月二三日（火）一五時～一六時三〇分

会場 近畿大学2号館実学ホール

講師 近畿大学名誉教授・元民俗学研究所所長・文化功労者 野本寛一氏

演題 近畿大学と民俗学

モデレーター 藤井弘章（近畿大学文芸学部教授）

主催…近畿大学文芸学部・民俗学研究所

参加者…教職員・大学院生・学生・卒業生・一般の方 約二〇〇名

野 本 寛 一

「近畿大学と民俗学」

（講演内容）

野本寛一氏は、精力的に民俗調査を続けられ、環境民俗学を提唱された民俗学者である。国から文化功労者として顕彰され、また、叙勲されたことでも知られている。野本氏は近畿大学において、民俗学研究所の立ち上げから尽力され、二代目所長を長年務められた。また、文芸学部において民俗学の教育にも尽力された。現在では近畿大学は西日本における民俗学研究・教育の拠点となっているが、現在に至るまでの歩んできた道のりを、当初からの経緯をよく知っている野本寛一氏に語っていただいた。世耕政隆氏（元近大総長・理事長）や谷川健一氏（研究所初代所長・文化功労者）をはじめ、近畿大学の民俗学研究にたずさわってきた方々の功績にふれつつ、近畿大学文芸学部の卒業生で民俗研究において活躍する卒業生についても触れていただいた。現在の教職員、学生にとっては、自校学習としても大いに参考になったと思われる。

（文責 藤井弘章）



講演中の野本氏



講演会で写された世耕政隆氏の写真



講演会の会場



谷川健一氏（左）と若いころの野本氏（右）



民俗文化



調査風景



調査風景